

IDEXX インビュー Dx (IDEXX inVue Dx™)血球形態検査 クイックガイド



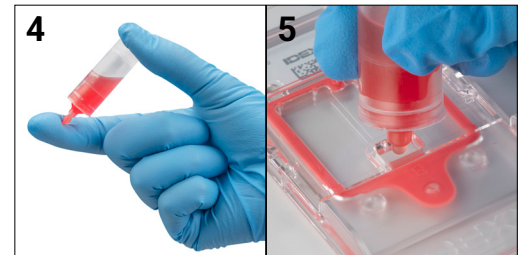
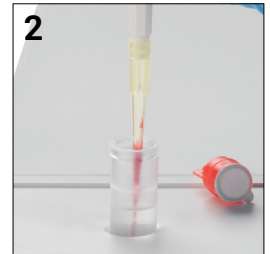
IDEXX インビュー Dx用の血液検体の準備

IDEXX インビュー Dx血球形態検査用クイック準備キットを使用して検体を調整する必要があります。下記の手順に従ってください:

1. ホイルシールをサンプルチューブから剥がします。
2. EDTA 採血管を10回転倒混和させた後、IDEXX インビュー Dx ピペットの1番目のストップを使用して採血管の中央から混合済みのEDTA 全血を20 μ L採取し、2番目のストップを使用してサンプルチューブに分注します。

注意:

- + 常に、抗凝固剤はEDTAを使用し、新鮮で混和済みの全血を使用します(採血後4時間未満の検体を使用し、8時間を超えたものを使用しないでください)。
 - + 網羅的な血液学的検査を行うために、血球形態検査と全血球計算(CBC)を組み合わせる場合は、両方の検査は同一の検体を使用します。
3. 試薬キャップからホイルシールを剥がします。キャップがチューブ先端と同じ高さになるまで、キャップをサンプルチューブに押し込みます。
 4. チューブを5~10回転倒混和します(振らないこと)。
 5. キャップ先端のタブをねじ切り、チューブの内容物をカートリッジのサンプル注入口へ6滴分注します。



IDEXX インビュー Dxとプロサイトの CBC を組み合わせた網羅的な血液学的検査

IDEXXの網羅的な血液学的検査は、プロサイトの定量的なCBC検査と、IDEXX インビュー Dxによる詳細な血球形態評価を組み合わせたものです。これらを組み合わせると、次のような結果が得られます:

- + 赤血球形態: 割合と半定量結果(軽度、中等度、重度)。網赤血球を含む。
- + 白血球6分画: プロサイトの結果を補正します。未熟な好中球が存在する場合は、その割合と定量結果が表示されます。
- + 推定血小板数: 自動血球計算装置で血小板数の減少や血小板凝集が指摘された場合に特に重要です。

ワークフローの推奨事項

健康な動物



または



その後

プロサイトで注釈(*)が表示された場合または基準範囲外の場合は、IDEXX インビュー Dxの検査を実施します。

病気の動物または網羅的な血液学的検査



病気の動物または網羅的な血液学的検査をより効率的に行いたい場合は、IDEXX インビュー Dxとプロサイトによる検査を同時に実施します。

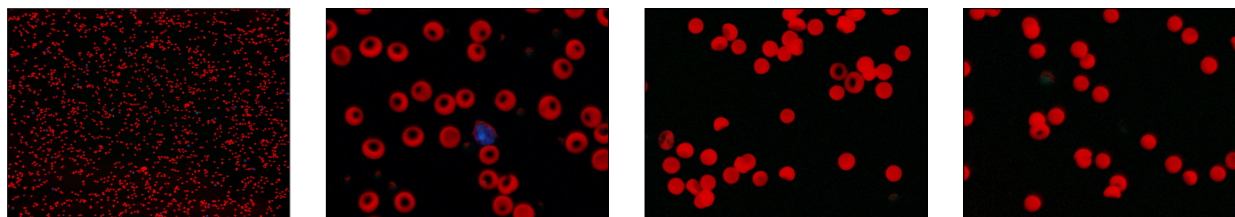
IDEXX インビュー Dxによる検査結果の確認

1. 定量的 / 定性的な結果を評価します。血球形態の検査結果は、IDEXX インビュー Dxを CBC 検査との併用の有無で異なります：

| 利用可能な検査項目 | IDEXX インビュー Dx + プロサイト | IDEXX インビュー Dx のみ (CBC 検査を実施せず) |
|--------------------|------------------------|------------------------------------|
| 赤血球(定量) | ✓ | 該当なし |
| ヘマトクリット(%) | ✓ | 該当なし |
| 球状赤血球(%, 半定量; 犬のみ) | ✓ | ✓ |
| 赤血球凝集(半定量; 犬のみ) | ✓ | ✓ |
| 網赤血球(%, 定量) | ✓ | ✓% |
| 白血球6分画(%, 定量) | ✓ | ✓% |
| 未熟な好中球(%, 定量) | ✓ | ✓% |
| 推定血小板数(半定量) | ✓ | 該当なし |

注意：プロサイト以外で測定したCBCの検査結果を IDEXX インビュー Dxに統合することもできます。この方法では、IDEXX インビュー Dxは手動で入力されたRBC、HCT、WBCを取り込みますが、基準範囲は表示されません。

2. 患者の状態や検体の肉眼所見とともに、画像の下に表示される検査所見を確認してください。
3. 検査結果を代表する画像が表示された画像ギャラリーを確認してください。画像はIDEXX インビュー Dxの検査結果を代表する病的な変化を示す一例であり、臨床的な解釈を行うためのものではありません。検査センターの病理検査報告書と同様に、これらの画像は飼い主様への検査結果のご説明に活用いただけます。赤血球は以下のように見えます。



結果にダッシュ(--)が表示される / 結果が非表示になる場合

多くの場合、IDEXX インビュー Dxの検査項目はすべて表示されますが、場合によっては一部が非表示になることがあります。

ほとんどの場合、脚注(画像ギャラリーの下に表示)には、非表示に対処するための推奨事項が記載されています。

結果にダッシュが表示される場合は、以下の可能性があります：

- + 不適切な検体調整(例：採血管やサンプルチューブの転倒混和が不適切)：サンプルカートリッジに分注する細胞数が多過ぎる、または少な過ぎる。
- + IDEXX インビュー Dxの赤血球数とプロサイトの赤血球数の予期せぬ乖離。サンプルの希釈に誤りがある。
- + 以下の場合、白血球分画は表示されません：
 - プロサイトの白血球数(WBC)にアスタリスクまたはダッシュが表示されている。このような場合は、定量結果がなくても、インビュー Dxによる比率(%)の結果を参考にしてください。この比率(%)は、状態の悪い動物を評価する場合に、特に役立ちます。
 - 多数(>2%)のその他の有核細胞が検出された場合は、白血球に干渉している可能性があります。

IDEXX インビュー Dx (一般用医療機器/血液像自動分析装置)

IDEXX プロサイト Dx (一般用医療機器/血球計数装置)

IDEXX プロサイト One (一般用医療機器/血球計数装置)